

学生時代を謳歌するなら、やっぱりサークルでしょ。
We Love Circle

ボランティアサークル
バンガーズ
Vanguards

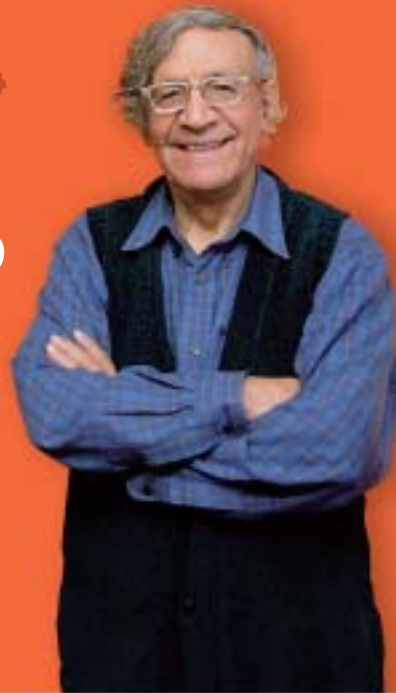
バンガーズの創設者ホセ・アギラール氏(79歳)。学生たちの良き理解者として、その活動を見守り続けている。創設当時の学生はすでに60代で、今も交流があるという。「日本の学生はたいへん恵まれています。社会から信頼され評価もされている。だからこそ、自分とは違う人や社会に目を向け、研究をしたり役立つことを考えてほしいですね。」



部長の久連松拓也さん。中学生の頃から施設訪問などのボランティア活動に参加してきた。

ボランティア活動の 先駆者であれ!

「如己愛人」永井隆博士筆。聖書の中の言葉で、「己の如く隣人を愛せよ」の意味。永井博士が「如己堂」の名の由来にもなった。アギラール氏が大切にしているボランティア精神でもある。



な明るくて元気のいい子ばかりです。また、知的障害者更正施設、潮見が丘学園(長崎市潮見町)での催しのお手伝いや、ユニセフ主催の募金活動な

拓也さん(工学部2年)。「現在、私たちは設立当初の趣旨をあまり堅苦しく受け止めず、自分たちの無理のない範囲で、小さなできごとをすることで、活動をしていきます。」
主な活動場所のひとつが児童養護施設(リア園)長崎市東山手)です。この施設では、さまざまな事情で親と暮らせない子どもたちが生活しています。子どもたちと一緒に遊んだり、勉強を教えたりしています。みんな明るくて元気のいい子ばかりです。また、知的障害者更正施設、潮見が丘学園(長崎市潮見町)での催しのお手伝いや、ユニセフ主催の募金活動な

バンガーズ(Vanguards)とは「先駆者」の意味。奉仕の世界の先駆者である。創立は1962年。永井学生センター館長のアギラール神父が、長崎大学で英語の講師をなさっていた時、学生に呼びかけてつくったサークルです。と部長の久連松拓也さん(工学部2年)。「現在、私たちは設立当初の趣旨をあまり堅苦しく受け止めず、自分たちの無理のない範囲で、小さなできごとをすることで、活動をしていきます。」

ど、年間を通じてさまざまな活動を行っています。「通常の学生生活では自分のことだけに目が行きがちですが、バンガーズの活動を通して、地域の子どもたちや障害を持った方、高齢者の方々と関わる中で、多くのことを考えさせられます。自分とは違う境遇、違う世代の方々



バンガーズは戦後、長崎市で最初のボランティア団体として長崎市から表彰されたこともある歴史あるサークル。現在の部員数は65人。それぞれが無理のない範囲で活動に参加している。

の活動を大切に続けながら、積極的に視野を広げて行きたいですね。気負いのない久連松部長の姿勢に、息の長い活動の秘けつを見るようにした。

と接しながら、久連松さん自身は必要以上に気を遣ったりせず、ごく普通に接することを学んだといいます。昨年、知的発達障害者の方たちのスポーツトレーニングの成果の発表の場である、スペシャルオリンピックス長崎大会にボランティアスタッフとして参加するなど新しいことにもチャレンジしているバンガーズ。今まで

活動の拠点はアギラール神父のご好意で、永井学生センターの一室を借用。